

「構造工学論文集」最終原稿作成、シンポジウム等、留意事項

土木学会・構造工学論文集編集小委員会

1. 「構造工学論文集投稿要領」記載の論文要領、体裁に関する規則を厳守して下さい。手書き原稿ならびに紙媒体での提出は受け付けません。査読による掲載可の判定は論文内容のみに関するものであり、**最終原稿に形式不備があった場合には、その時点で返却する権利を当編集小委員会は持ちます。**
2. 提出する最終原稿は、投稿要領、原稿見本、チェックシート（構造工学論文集編集小委員会のホームページ（<http://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/index.html>）から入手できます。）に従って通常の A4 サイズで作成頂き、その PDF ファイルを投稿者用 Web より提出下さい。アクセス先の Web アドレスはメールにより送信されています。ユーザ名とパスワードをご準備下さい。
 - 1) 提出頂きました PDF ファイルはそのまま論文集（J-STAGE）に掲載されます。著者の責任で PDF ファイルには細心の注意を払って下さい。PDF ファイルの作成には、土木学会論文集における PDF ファイルの作成方法（<http://committees.jsce.or.jp/jjsce/ptebiki>）に従って下さい。カラーの図表を入れて頂くことも可能です。
 - 2) ファイルサイズが 10 MB 以下に収まっているか、フォントが全て埋め込まれているか、プリンタで印刷した際に文字化けや図表の画質に問題がないか等、ご確認下さい。
 - 3) 最終原稿には、絶対にページ番号は付けないで下さい。また、セキュリティーの設定は絶対に行わないで下さい。添付ファイルも付けないようにして下さい。これらの点は、必ずご確認下さい。
 - 4) 連絡著者、受理日は、フォーマットに従って適切な位置に記載して下さい。
 - 5) 英文タイトルおよび英文著者名の表記の仕方に誤りが大変多くなっています。最終原稿の見本を参考にして、必ずフォーマットを守るようにして下さい。J-STAGE への掲載の関係上、必ず、ご確認下さい。
 - 6) PDF ファイルを提出する前に、PDF ファイルの質をご自身で十分にご確認下さい。
 - 7) 最終原稿には査読意見を適切に反映させて下さい。
 - 8) 最終原稿の他にチェックシートもご提出下さい。チェックシートにおけるチェック内容と原稿の実際に不整合がある場合は返却することがあります。
3. 登載料は下記の通りです。

ページ数に依らず 50,000 円

なお、登載料の請求書は連絡先宛に送付します。

4. 別刷は配布いたしません。
5. 修正原稿（最終原稿）の提出ならびに修正報告の入力
 - 1) 投稿者用 Web の画面に従って提出して下さい。
注記：論文題目、原稿区分の投稿時からの変更は、査読意見として指示されていない限り、原則として認めません。やむを得ず変更する場合は委員長宛に理由書を作成の上、構造工学論文集編集小委員会（メールアドレス：struct-eng@jsce.or.jp）までメールでご提出下さい。なお、著者名（著者の順番を含む）の投稿時からの変更は認められませんので、ご注意下さい。
 - 2) 修正報告（新旧対照の報告、様式は任意だが、査読意見と修正内容を対で示すとともに、新原稿における修正箇所を明示すること。）をシステム上にアップロードして頂きます。査読者の修正意見に対して適切な対応がされていない場合、掲載不可となることがありますのでご注意下さい。

3) 提出期限：2022年1月11日（火）17:00

締切後、ただちに論文集の製作に入りますので厳守して下さい。提出期限に遅れた場合は、掲載否とすることがあります。

4) 問い合わせ先：土木学会構造工学委員会構造工学論文集編集小委員会幹事長

・金沢大学理工研究域地球社会基盤学系准教授 栗橋祐介

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内

E-mail: struct-eng@jsce.or.jp

6. 掲載された論文は第68回構造工学シンポジウムで必ず発表して頂きます。日程は以下の通りです。プログラムは、2022年2月末までに構造工学論文集編集小委員会のホームページ (<http://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/index.html>) に掲載される予定です。また、土木学会誌 2022年3月号会告に開催案内を掲載する予定です。

開催期日：2022年4月16日（土）、17日（日）

開催場所：日本学術会議および東京工業大学（予定）

注）日本建築学会からも、本論文集の姉妹誌として建築部門を対象とした構造工学論文集 Vol.68B が刊行され、同日同会場（並行セッション）にてシンポジウムが開催されます。建築部門に関する詳細は建築雑誌（日本建築学会）の会告に掲載されます。

7. 構造工学論文集 Vol.66A からは、論文集（CD）は発刊せずに、J-STAGE にシンポジウム前にフリーで掲載することになりました。従いまして、論文集（CD）の販売は致しませんので、予めご了承下さい。